

書名	大化改新の黒幕【祥伝社新書】			著者名	小林 恵子 / 著		
出版社	祥伝社	ISBN	978-4-396-11579-1	本体価格	¥840	発売	2019/9/4
内容	大化改新は、中臣鎌足と中大兄王子が首謀した政治改革で、ここで天皇中心の中央集権体制ができたとされている。しかし、国際的視点から古代史を見た場合に、それだけではない唐につながる海外の黒幕の存在が浮かび上がってくる。						

書名	大伴旅人 人と作品【祥伝社新書】			著者名	中西 進 / 著		
出版社	祥伝社	ISBN	978-4-396-11580-7	本体価格	¥820	発売	2019/9/4
内容	令和の元になった『万葉集』梅花の唄の序の作者であることから注目を集める歌人である。その生涯はその子である大伴家持ほどには知られていない。ここでは、令和の名付け親ともいわれる中西進氏に、旅人の生涯をたどるとともに、その作品を解説付きで紹介する。						

書名	神武天皇「以前」 縄文中期に天皇制の原型が誕生した			著者名	宮崎 正弘 / 著		
出版社	扶桑社	ISBN	978-4-594-08270-3	本体価格	¥1,500	発売	2019/9/4
内容	日本人の精神のふるさととは縄文にある芸術の域にまで達する土偶文化が花開き、世界に誇る天皇制の源流へと溯れる縄文時代。日本文化のルーツを探る旅から見てくる民族の精神とは？考古学の最新の知見を踏まえて古代日本の実相に迫る歴史ロマン！						

書名	奈良の寺々			著者名	太田 博太郎 / 著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-07109-3	本体価格	¥2,200	発売	2019/9/15
内容	建築は基本的知識がないと美や良さを理解し難い。基礎用語と建物の構造を平易に解説した、鑑賞のための入門書。建築用語索引を付す。						

書名	仏像100のひみつ			著者名			
出版社	エイ出版社	ISBN	978-4-7779-5704-0	本体価格	¥1,500	発売	2019/9/18
内容	今からおよそ二千五百年前、インドで生まれた仏教は日本に伝来し、様々な姿をした仏像が造られてきました。仏教を中心とした国家が発展した飛鳥・奈良時代。密教の伝来とともに多様化した平安初期の仏像。貴族文化が華やいた平安中後期。武士が台頭し、戦乱の世を迎えた鎌倉時代。それぞれの時代を背景とした多種多彩な仏像が造られてきました。それらをお寺や博物館でより面白く、深く参拝(鑑賞)するためのポイントを編集部オリジナルの写真をふんだんに使って、見やすく、わかりやすく伝授します。仏像やお寺(仏教)に興味がある人が、自然に思い浮かべる素朴な疑問に答える一冊です。						

書名	いまこそ知りたい天皇と日本の始まり			著者名			
出版社	宝島社	ISBN	978-4-8002-9780-8	本体価格	¥880	発売	2019/9/20
内容	本誌は『古事記』『日本書紀』の細かい分析、および新たに発掘された遺跡や最新研究をもとに、神話の時代から飛鳥時代に至る過程で「万世一系」の皇統がどのようにして出来上がり、そして「日本」という統一国家が誕生したかを解説するものです。初期ヤマト王権時代の豪族の分布や遺跡・出土品の検証、さらには『魏志倭人伝』の邪馬台国の記述を再検証することで、邪馬台国＝初期ヤマト政権である可能性について考察します。						

書名	犬養孝の万葉をたずねて			著者名	富田 敏子 / 著		
出版社	平凡社	ISBN	978-4-582-63518-8	本体価格	¥1,800	発売	2019/9/24
内容	万葉学の第一人者犬養孝のノートを手がかりに万葉集の舞台を訪ね、歌を読み解く。初心者にもわかりやすい解説と美しい写真で万葉世界の旅へと誘う。令和の選定元、梅花の宴も紹介。						

書名	古事記の研究【中公文庫】			著者名	折口 信夫 / 著		
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-206778-3	本体価格	¥1,000	発売	2019/9/25
内容	昭和九年と十年に行った講義「古事記の研究」(一・二)と「万葉人の生活」を収録。「古事記研究の初歩」と自身が呼ぶ講義の初文庫化。《日本再見》第2弾						